

# 滋賀のサッカーの100年後を 見据えJリーグチームを目指して

大津市をホームタウンに、滋賀県初のJリーグ加盟を目指す社会人サッカーのクラブチーム SHIGA CITY FC。2019年春、株式会社滋賀ユナイテッドのサッカー部門が独立して新チームが設立され、運営会社として SHIGA CITY 株式会社が創業した。現在、滋賀県社会人リーグ1部に所属し、関西リーグ昇格を目標に大学生から社会人まで約15人が選手として活動している。さまざまな課題を抱えながらの独立だったが、独立後も今シーズン、優勝を果たした。さらなる前進に向け、より安定した運営基盤を築くため、日々奮闘を続けている。

代表取締役

ふくしげのりえ  
**福重 伯枝**さん



チームエンブレムは、滋賀県をサッカーの力で丸くひとつに、という願いを込め、そのなかの三角形は琵琶湖を模しているほか、近江商人の心得である「三方よし」をイメージしている。サッカーボールの模様を琵琶湖の波に見立て、そこに朝日が昇り、県の鳥である「カイツブリ」をモチーフにして、琵琶湖の豊かな水に因んださわやかな水色でまとめられている。

SHIGA CITY株式会社

- 代表者/代表取締役 福重伯枝
- 従業員数/2名
- 住所/滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 424号室
- 創業/2019年
- 業務内容/スポーツ振興事業、サッカークラブチーム運営、サッカースクール運営
- TEL / 090-7754-0802
- e-mail / fukushige@shigacity-fc.jp
- URL / https://shigacity-fc.jp

SHIGA CITY 株式会社



SHIGA CITY FCの選手たちと福重さん(右端)。

## “サッカーママ”の視点から

— サッカーに携わるきっかけは？

私は音楽大学でフルートを専攻していました。サッカーどころかスポーツとはまったく畑違いの人間なのですが、夫がサッカーの指導者で、息子も長年サッカーをしていることもあり、この競技が好きなのにかけては折り紙付きです(笑)。仕事としては、地元の情報誌の会社で営業をしてきました。

自分が携わる媒体に、サッカーをはじめスポーツ関連の記事をもっと載せたいと思い、広告営業でいろんな企業を訪問しながら先々でそういう話をしていたところ、「そんなにサッカーが好きなら」と紹介されたのが滋賀ユナイテッドの社長でした。同社長から、一緒にスポンサー営業をしてほしいと言われたのが、スポーツ事業に関わるようになったきっかけです。

— 創業の経緯をお教えてください。

当時、滋賀ユナイテッドは設立されたばかりで、夫や息子をサポートしてきた経験が少しは役立てられるのでは、と思ひ引き受けました。ところが蓋を開けてみれば、営業どころか広報、試合運営と、何から何まで自分でやる羽目になり、気づけば24時間体制でチーム運営に携わっていました。

私自身が夫や息子を食事やメンタル面から支える“サッカーママ”だったこともあり、選手の想いを第一にして続けてきましたが、滋賀ユナイテッドが野球部門に重点を移してスタッフも野球関係者が大半を占めるようになり、目標が違うサッカー部門の運営に限界を感じていました。そんなとき、サッカーチームが関西リーグ入れ替え戦で負けたことで解散話が浮上。私自身、選手たちに何をしてあげてきたのかと激しく自問しました。そして、このままでは後悔する、と思いサッカー部門の独立を決意したんです。

## 世界に誇るサッカーチームを滋賀に

— 起業にはご苦労もあったのでは？

私の決断に対して、周囲からは「苦労するだけ」「あなたが責任をとる必要はない」と反対が多かったのですが、応援して下さる方々もいて、とくに営業をしていた頃のお客様がスポンサーを買って出てくださいしたのは本当に心強かったです。

とはいえ起業となると、これまでやってきたチーム運営とはまた別の話。お付き合いのあった銀行の方に相談したところ、紹介されたのが産業支援プラザさんでした。2019年に創業オフィスチャレンジコース※に入居し、6月に運営法人を立ち上げました。IM(インキュベーション・マネージャー)の中村さんが親身になってアドバイスをくださり、やっと事業の道筋が見えてきたところです。



新調したユニフォームに身を包み、意気上がる選手たち。

— どんな課題がありますか？

学校を出て就職するのが一番無難な道ですが、それでも夢を追ってサッカーを続けたいと思っているひたむきな子たちを応援したいというのがサッカーママとしての私の思いです。ところがそういった子たちが就職する会社は、将来を考えて、人材としてきちんと教育してくれるところが少ないんです。選手たちも、「空いた時間に働けたらいいや」といった意識になりがちです。でも、20代の一番大事な時期にそれでいいのか、5年経ったら何も残っていなかった…なんてことを許してはいけないと思うのです。

サッカーをやめたあとも、社会人としてしっかり身を立てていけるようにしてあげないといけない。そういう考えのもと、仕事の幹旋も責任をもって吟味しています。幸い滋賀には、会社の規模は小さくなくても、理解のある立派な社

長さんがたくさんいらっしゃいます。若い子たちにはこちらの思いが通じないこともあります。本人と真剣に向き合い、伝え続けることが必要だと考えています。それも私の役目です。

— 今後の展望をおきかせください。

いまの子たちは、日本から出ることをはじめから視野に入れてます。現に息子もサッカー選手としての活躍の場を求めて海外に出ました。今後は育てる側にもグローバルな視点が必要ですが、残念ながら滋賀には世界を目指す子たちの受け皿がなく、また戻ってくる場所もありません。そういう場をつくりたいと思い、スペインでライセンスを取得、指導経験をもつ指導者を迎えて11月からスクール事業を立ち上げました。子どもたちはもちろん、ともに乗り越えていくお母さんたちにも絆を育んでもらい、いろんな出会いや経験を通じて、感動を分かち合える場にしたいと思っています。



スペインでの指導経験をもつ川林新監督。スクールコーチも兼任する。

この秋、チームは滋賀県社会人リーグ1部優勝を果たすことができました。今後は、まず関西リーグに昇格し、滋賀初のJリーグチームになることが目標です。しかし、もっと大きな夢は100年後、世界に誇るチームがこの滋賀に誕生すること。乗り越えるべき課題が山ほどあり、辛い日もありますが、「今をブレずに大きな目標に向かってまっすぐ進めば迷う必要などない」と先日、海外にいる息子に電話で励まされました。彼もサッカーを通じて多くのことを学んでいるのだ、と思うと私のすべきことも見えてきます。サッカーというスポーツを通じて家族や選手たちからもらった喜びや学びに感謝し、それに報いていければと思っています。

※創業プラザ滋賀  
コラボしが21インキュベーション事業の一環で、起業家と共に考え、行動する支援施設です。単なる賃貸施設とは異なり、起業家の成長段階に応じた支援を受けることができ、創業・起業家のための学びの場を提供するほか、常駐するIM(インキュベーション・マネージャー)によるサポートを受けることができます。これから創業する方、創業後間のない方、第二創業で新事業に挑戦する方をサポートします。  
※創業オフィス チャレンジコース 県内で創業を目指す人、IMの支援を必要とする人、オフィスを必要とする人に対して、事業計画の作成支援、資金計画、販路開拓などを支援します。利用期間を1年とし、延長制度もあります。